

生まれてからのサポート

子牛の衛生対策の基本は
「初乳」「鉄剤」「虫下し」
忘れちゃいけないアースジェネター

SHEPHERD

これだけは念頭に置いておこう

子牛の病気を防ぐには「免疫」を強化する！

- 子牛への免疫伝達は初乳から
- 生理的貧血による免疫低下
- 寄生虫はタンパク質吸収をジャマする

SHEPHERD

子牛を護るには

とにかくしっかり
目視観察する

SHEPHERD

どこを見るか？

1. 子牛の眼はかわいい！
2. 耳はピンと張っているか？
3. 呼吸は普通にしているか？
4. 痩せ方、毛並み、陰毛の白色化
5. 前膝関節と歩き方

SHEPHERD

まずは生まれた時点で

子牛の基礎を作る3つの処置

- 生後すぐの初乳給与
- 生理的貧血の予防
- 寄生虫による下痢・発育不良を防ぐ

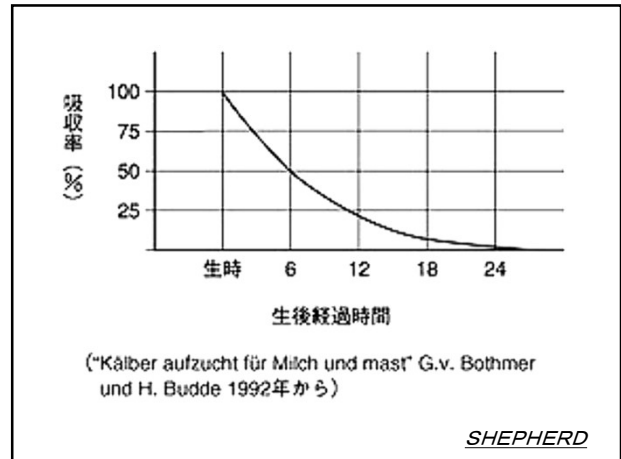
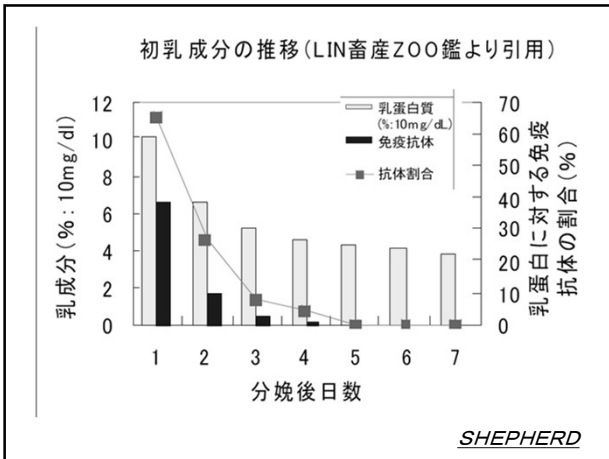
SHEPHERD

子牛を健全に育成する

初乳の重要性

- 人と違い子牛はお母さんのおなかの中では、免疫をもらえない
- お母さんからもらう免疫は、すべて初乳に入っている
- 初乳が不足していると病気にかかりやすい
- 良質の初乳と粉末初乳を合計1～2L、生後なるべく早く飲ませる（お母さんが免疫をきちんと持っている保証はない！）
- よそから初乳をもらってこない！

SHEPHERD



ホルスタインの初乳中には
IgG(免疫抗体)が
和牛の40%しか含まれていない

SHEPHERD

牛の免疫の中心は
腸管免疫機構

SHEPHERD

だから腸内環境を整える
生菌剤は最も重要なサプリ
と言っても過言ではない

SHEPHERD

鉄剤の投与で
発育不全や免疫低下を防ぎ
元気な子牛が育つ

SHEPHERD

子牛の生理的貧血を防ぐ

- 子牛の発育に対して、母乳から摂取できる鉄分が追いつかない
- 生後1週間から3週間で貧血が現れる。
- 貧血によって抵抗力が落ちたり発育が遅れるなどの弊害

SHEPHERD

生理的貧血の対策

- 注射用鉄剤10ml使用
- 注射時期は、生後3日目を推奨
- 同時にビタミンADE剤(ゼノピタン 1ml+ビタミンE注2ml)の注射を行う
- OTCやアイボメックと同じ日に注射しちゃ絶対ダメ

SHEPHERD



子牛が生まれたら数週間は「おへソ」をチェック

SHEPHERD

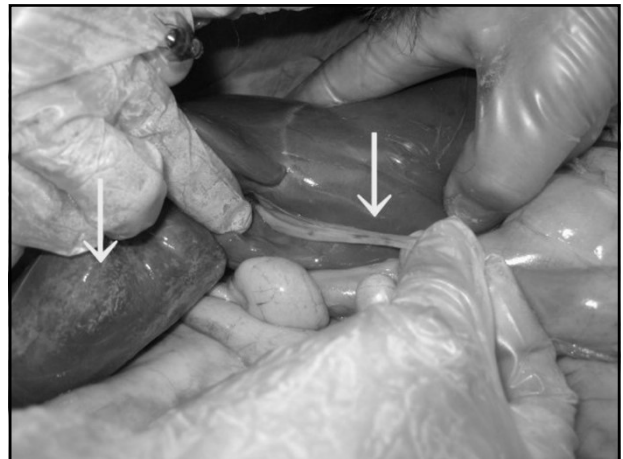
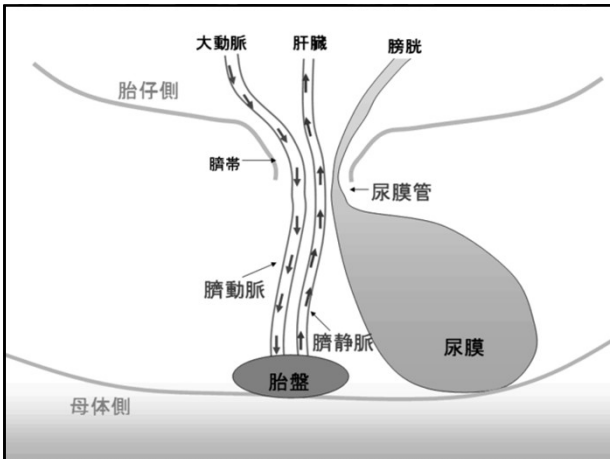
おへその消毒

腫れるだけじゃすまないってば！

- 呼吸が落ち着いたらちゃんとおへその消毒してますか
- 臍帯炎(へその腫れや化膿)よりも怖い病気になるよ(臍帯炎だってデベソの誘因になるしね)
- 怖い怖い敗血症
- 腹膜炎も絶望的にやっかい

SHEPHERD





寄生虫の駆除で腸炎防止
だけでなく免疫の維持も

SHEPHERD

虫下しの注意！

イベルメクチンの普及でコクシの被害増加！
必ずコクシの駆除も併用しよう！ SHEPHERD



**イベルメクチンの普及でコクシの被害増加！
必ずコクシの駆除も併用しよう！** *SHEPHERD*

3,今週はここまで！

お見逃し配信は、TELASAまたはHuLuで
(うっそで一す)

SHEPHERD